

貿易実務講座（基礎編）カリキュラム詳細

< 1日目 > 基礎入門

1 貿易取引の流れ

- ◆ 国内取引と海外取引との相違点（国内取引にはないどんなリスクがあるか）
- ◆ 信用状取引の流れ（海外取引のリスクをカバーしてくれる信用状取引とは？）
- ◆ 貿易取引の基礎書類（貿易取引に頻度高く登場する基礎書類とその役割）
- ◆ 荷為替手形による代金決済のしくみ（送金ではない荷為替手形の実務の流れ）

2 取引条件① インコタームズ（貿易条件）～価格の決め方～

- ◆ インコタームズとは？（インコタームズにもとづく費用負担の範囲と貨物の危険負担の範囲）
- ◆ 貨物の危険負担の範囲と貨物海上保険の付保（貨物のリスクを保険でカバーするには？）
- ◆ インコタームズ 2010 の 11 条件（最新版のインコタームズの条件を体系的に整理）
- ◆ 輸送形態に適したインコタームズ（輸送形態に適したインコタームズ）

3 取引条件② 貿易運送 ～どんな輸送形態があるか～

- ◆ 貿易取引における輸送形態の種類（どのような輸送方法があるのか）
- ◆ 海上輸送と輸送書類（コンテナ船の船積みと輸送書類（B/L））
- ◆ 航空輸送と輸送書類（航空輸送の種類と輸送書類（Air Waybill））
- ◆ 国際複合輸送（複数の輸送方法を組み合わせて輸送する場合と輸送書類）

4 取引条件③ 貨物海上保険 ～貨物の事故をカバーしてくれる保険～

- ◆ 貨物海上保険の基本的な条件（どの条件で保険付保すれば安心か）
- ◆ All Risks（全危険担保）でもカバーされないリスクとは？（戦争危険とストライキ危険は追加契約が必要）
- ◆ 旧 ICC と新 ICC（時代は新しい保険約款へ移行）
- ◆ 保険でカバーできないもの（保険が効かないケースとは？）

5 取引条件④ 代金決済 ～代金の支払い方法にはどんな種類があるか～

- ◆ 代金決済の方法（貿易取引の代金決済方法にはどんな種類があるか）
- ◆ 荷為替手形による取引（輸出者側から代金請求する形態）
- ◆ 一覧払手形と期限付手形（輸入者の資金繰りが異なる）
- ◆ D/P 手形と D/A 手形（信用状を利用しない荷為替手形決済）
- ◆ 送金取引（輸入者側から振り込む形態）
- ◆ 輸出入者にとって有利な決済方法とは？

< 2日目 > 輸出入の実務+貿易取引ロールプレイ

1 輸出実務の流れ

- ◆ 輸出実務の流れ（輸出の仕事はどの順番で進めていくか）
- ◆ 輸出実務の関係機関とその役割（関係機関の役割と、機関との連携を整理）

2 輸出通関と貨物の船積み

- ◆ 輸出通関の流れ（輸出通関のポイントと実務の流れ）
- ◆ 輸出の法規制（輸出に際して法令により許認可が必要となる場合）
- ◆ 貨物の船積み（貨物を船積みし、B/L が発行されるまで）

3 輸入実務の流れ

- ◆ 輸入実務の流れ（輸入の仕事はどの順番で進めていくか）
- ◆ 輸入実務の関係機関とその役割（関係機関の役割と、機関との連携を整理）

4 輸入通関と関税制度

- ◆ 輸入通関の流れ（輸入通関のポイントと実務の流れ）
- ◆ 輸入の法規制（輸入に際して法令により許認可が必要となる場合）
- ◆ 関税制度（関税はどのように計算され、課税されるか）
- ◆ 関税と消費税の計算

5 貨物の引取り

- ◆ コンテナ船の引取り（コンテナ船で輸送された貨物の荷受け）
- ◆ B/L なしでの貨物の引取り（B/L が間に合わない場合の貨物の引取り）
 - ・ L/G（保証状荷渡し）
 - ・ Sea Waybill（海上運送状）
 - ・ Surrendered B/L（元地回収 B/L）
- ◆ 航空貨物の引取り（L/C 取引の場合の航空貨物の引き取り方法）

6 ロールプレイ（送金取引）～役割分担して貿易取引を模擬体験～

- ◆ 売買契約の締結
- ◆ 船の手配
- ◆ 保険の手配（保険料の計算）
- ◆ 貨物の通関・船積み（運賃計算）
- ◆ 輸入者への書類の送付
- ◆ 貨物の引取りと輸入通関
- ◆ 関税・消費税の納付（税金計算）
- ◆ 代金の送金（輸入者）
- ◆ 送金の受領（輸出者）